

**有家川の橋の復旧工事の進捗状況はどのようになっているのか**

**建設部長** 県や地元と協議を行いながら、復旧等の方針を決定したいと思っている。



中村 哲康 議員

**農業振興について**

**議員** 若手の人口流出を防ぐためにも、地元での就職先を増やす必要がある。農業や漁業に限らず、若手育成に補助を必要としている産業について、どのように考えているのか。

**地域振興部長** 若者の後継者不足や高齢化の問題については、職場環境についての支援というものをもっと考えていかなければならないと考えている。  
**議員** 荒れた農地を所有している場合、農地の固定資産税が1.8倍になると

いう話を聞いたが、諸般の事情により作りたくても作れない方々もいる。固定資産税の増額について、何か救済措置のようなものはないのか。

**農業委員会事務局長** 農地中間管理事業を利用したという意向があり、調査票を提出していただければ、固定資産税が増加することはない。

**成年年齢の引き下げについて**

**議員** 成人式が行われなかった令和3年の人たちについて、ゴールデンウィークやお盆休み等、大型連休に何か成人式のようなイベントを行うことはできないのか。

**市長** 令和3年成人式の対象の方々には、既に入成人証書をお届けしており、今後の式典の開催については考えていない。  
**議員** これはあくまでも要望だが、令和3年の方々が改めて集まるということとはなかなか難しいと思うので、市が企画して告

知すれば、集まりやすくなると思うので、そういうことで考えていただきたい。

**自転車歩行者専用道路について**

**議員** 地元企業等にアダプト団体として道路の管理等をお願いできないか。

**市長** いろんな活動ができるように対応していく。

**観光について**

**議員** いろいろな企画を考えている団体に支援や補助はできないのか。

**地域振興部長** 前向きに支援をしていく。



亀洲の潜水橋

質問の様子を動画で見よう



**4月から実施される学校給食費の減免の内容は**

**市長** 保護者負担の軽減制度を創設、3人目以降の全額を補助する。



近藤 一字 議員

**子ども支援について**

**議員** こども福祉医療費を現物給付にしてほしい。今より、2,342万円あればできる。

**福祉保健部長** 小中学生が、平成25年から、高校生が、令和元年から始まった制度である。現物給付、償還払いのことも検討されたと思う。医療機関の窓口での混乱、医療費システムの改修も必要になる。現時点での現物給付の導入は厳しい。

**議員** 12月議会で長崎市の現物給付ができたことを紹介した。こういう制度を早くつくってもらいたい。

今年4月から国保・未就学児の均等割額が半額に軽減される。この制度を中学卒業まで拡大してほしい。1,200万円あればできるが。

**福祉保健部長** その場合、国と県が負担する4分の3の費用をどのように捻出するかという財源的な問題等の理由により中学卒業まで拡大するのは難しい。

**子ども支援について**

**議員** 「生理の貧困」が社会問題化している。中学校の女子トイレに生理用ナプキンを備えておくのと安心して学校生活が送れると思うが。

**教育長** 保健室に生理用品を常備している。衛生管理上の問題もあり考えていない。

**議員** 私は、実際に中学校に行き、教室から保健室に行き、トイレに入り用を済ませて、教室に戻る実験をやってみた。休み時間、保健室に行くのに時間がかかる。体育で着替えるのにも時間がかかる。衛生面は置き方次第で解決できる。

**議員** 就学援助制度の支給項目のうちクラブ活動費、PTA活動費、生徒会費を支給対象費目にしてほしい。640万円ほどでできる。

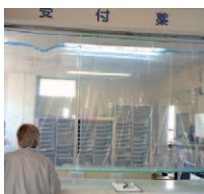
**教育長** PTA連合会補助金などで支援しており、新たに就学援助の対象とすることは考えていない。

**高齢難聴者への支援について**

**議員** 加齢性難聴者に対する補聴器購入の公的助成をするべき。認知症の予防策、お年寄りの就労や社会参加に補聴器は必需品である。

**福祉保健部長** 障害者総合支援法に基づいて、補装具費支給制度によって助成している。

**議員** 上限3万円の補助で200人が申請したとして600万あればできる。どのような補助の仕方があるか全国に発信して研究してほしい。



病院窓口風景

質問の様子を動画で見よう

